

高山市人権だより

令和5年5月発行

〒506-8555 高山市花岡町2丁目18番地
高山市 市民活動部 生涯学習課
TEL : 0577-35-3155 FAX : 0577-35-3414
E-MAIL : shougaigakushuu@city.takayama.lg.jp

HIV・ハンセン病を正しく知ろう

※携帯電話・スマートフォンで過去発行分の閲覧が可能。こちらから⇒



エイズウイルス(HIV)やハンセン病等の感染症に対する正しい知識と理解は、いまだ十分とはいえない状況にあります。これらの感染症にかかった患者・回復者等が、周囲の人々の誤った知識や偏見等によって苦しむことがないように、感染症に対する正しい知識と理解が必要です。

HIV・エイズとは？

エイズを引き起こすウイルスを**HIV**といいます。HIVに感染したことで、身体の免疫力が低下し発症するのが**エイズ**です。

令和3年の新規HIV感染者は742件、新規エイズ患者は315件で、共に前年に比べて減少しています。

HIV・エイズの基礎知識

○感染経路は3つ

1.性的接触 2.血液感染 3.母子感染

HIV(ヒト免疫不全ウイルス)の感染力は強いものではなく、感染経路は特定されています。

上記3つ以外で感染することはありません。

○治療法が進展しています。

エイズ(後天性免疫不全症候群)は、医学的知識の蓄積と新しい**治療薬の開発**等により、**発症を遅らせたり、症状を緩和させたりすることが可能**です。

こんなことでは、感染しません

- ・握手や会話
- ・キス
- ・咳やくしゃみを吸い込む
- ・便座や食器、タオルなど日用品の共用
- ・血を吸った蚊やダニなどに刺される
- ・お風呂やプールなどに一緒に入る



ハンセン病とは？

「**らい菌**」と呼ばれる細菌による感染症です。初期症状は、知覚麻痺や皮膚の発疹で、治療薬がない時代には、皮膚や手足の変形を起したり失明するなど、治っても重い後遺症を残すことがありました。

しかし現在では、治療薬が開発され、発症しても治療することができます。

ハンセン病の基礎知識

○**感染症であり、遺伝病ではありません。**
ハンセン病は**決して遺伝しません**。かつては、遺伝病と誤解されていたこともありましたが、そのことが本人だけでなく、家族までもが差別される一因となっていました。

○**弱い発病力。ほとんどない感染源。**
ハンセン病の原因となる「らい菌」は非常に感染力の弱い細菌です。感染し発病することは稀ですし、日本では感染源はほとんどありません。もちろん**完治した人からは感染しません**。

○**確実に治療できる病気です。**
ハンセン病は、優れた薬が開発された事により、現在では**確実に治療することができる病気**となっています。早期治療により後遺症を残すことなく完治できます。



あなたの不安に寄り添いながら支援をする、公的な相談窓口があります

- ・みんなの人権110番 ☎0570-003-110(受付時間:平日8:30~17:15)
法務局職員や人権擁護委員が相談を受けています。※相談無料、秘密厳守
- ・インターネット人権相談 <https://www.jinken.go.jp> 又は「インターネット人権相談」で検索